

四万十町地域公共交通計画

資 料 編

1. 地域の人口及び世帯数 資料編- 1
2. 四万十町の集客施設 資料編- 5
3. 地区別意見交換会から得られた意見 資料編- 7
4. コミュニティバス利用者懇談会から得られた意見 資料編-10
5. コミュニティバス利用者アンケートから得られた意見 資料編-23
6. 関係者から得られた意見 資料編-32

1. 地域の人口及び世帯数

(1) 世帯数の推移

本町の世帯数は減少傾向にあるものの、人口が世帯数を上回り減少しているため、一世帯当たりの構成人員が2.0人を下回るようになっている。

表：本町の地区別世帯推移（世帯） 2008（平成20）年度～2023（令和5）年度

	2008年度 （平成20） ①	2013年度 （平成25）	2018年度 （平成30）	2023年度 （令和5） ②	増減数 （②－①） ③	増減率 （③/①）
窪川地域	6,234	6,253	6,127	5,826	▲408 世帯	－6.5%
大正地域	1,248	1,223	1,173	1,117	▲131 世帯	－10.5%
十和地域	1,315	1,314	1,274	1,196	▲119 世帯	－9.0%
町全体	8,797	8,790	8,574	8,139	▲658 世帯	－7.5%

表：一世帯当たりの構成人員（人/世帯） 2013（平成25）年度～2023（令和5）年度

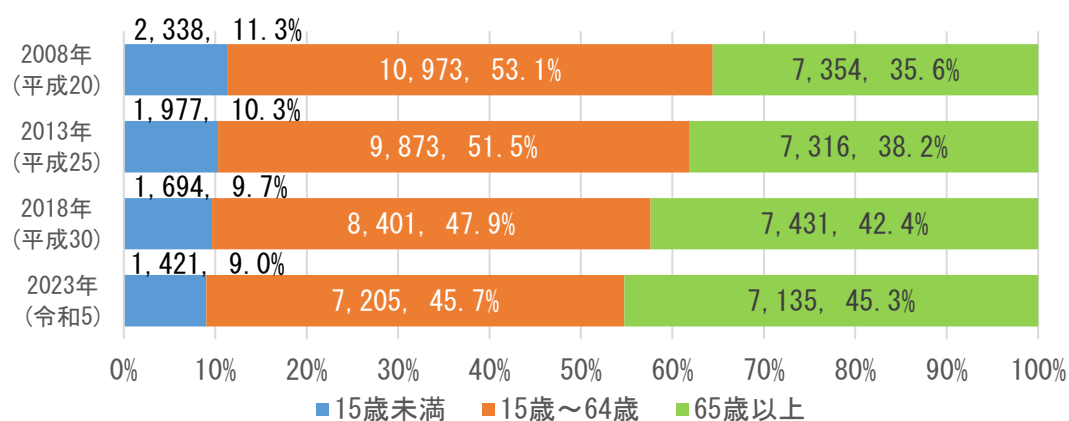
	2008年度 （平成20） ①	2013年度 （平成25）	2018年度 （平成30）	2023年度 （令和5） ②	増減数 （②－①） ③	増減率 （③/①）
窪川地域	2.27	2.13	2.01	1.92	▲0.35 人	－15.4%
大正地域	2.49	2.30	2.12	1.96	▲0.53 人	－21.3%
十和地域	2.60	2.32	2.13	1.99	▲0.61 人	－23.5%
町全体	2.35	2.18	2.04	1.94	▲0.41 人	－17.4%

出典：四万十町住民基本台帳（各年1月1日時点）

(2) 年齢構成の推移

年齢層別に人口を見てみると、65歳以上の高齢者の割合が一貫して大きくなっているが、2018年から2023年にかけてその高齢者人口も減少局面に入ったと考えられる。

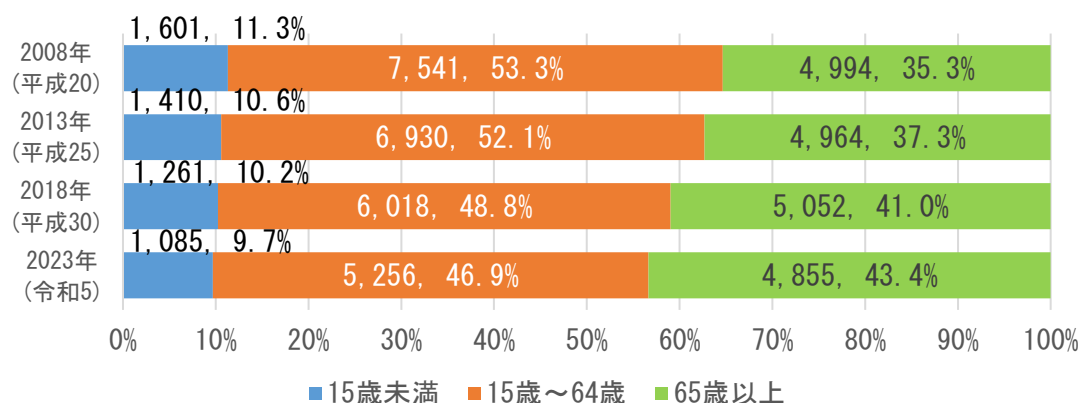
図：年齢三区分の人口推移（人）



出典：四万十町住民基本台帳（各年1月1日時点）

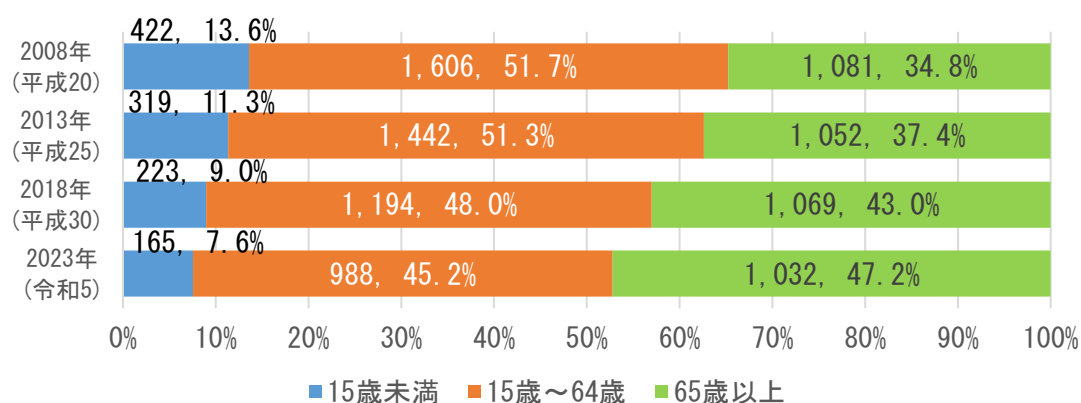
① 窪川地域

図：年齢三区分の人口推移（人）



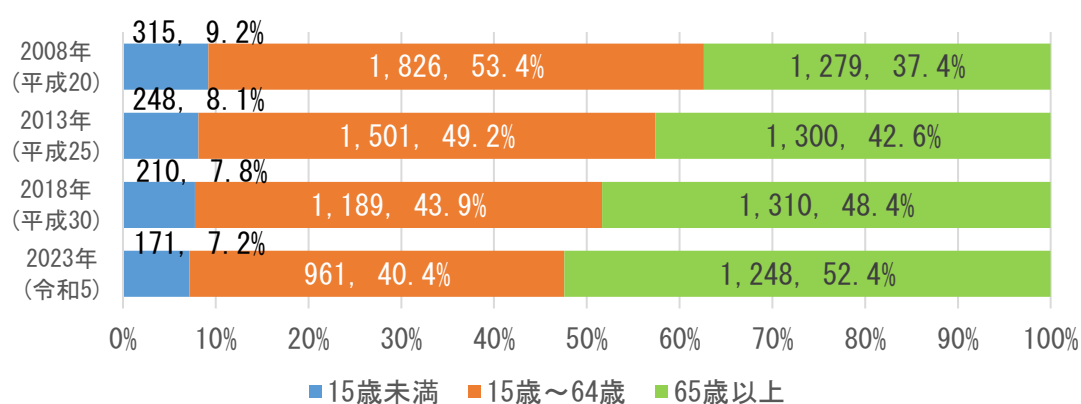
② 大正地域

図：年齢三区分の人口推移（人）



③ 十和地域

図：年齢三区分の人口推移（人）



出典：四万十町住民基本台帳（各年1月1日時点）

(3) 行政区別人口の推移（15 年前と比較）

窪川地域	2008年 (平成20)	2023年 (令和5)	増減率
金上野	721	705	-2.2%
古市町	311	271	-12.9%
東町	114	69	-39.5%
茂串町	478	357	-25.3%
本町	305	250	-18.0%
新開町	185	133	-28.1%
琴平町	391	294	-24.8%
北琴平町	868	669	-22.9%
榑山町	273	254	-7.0%
香月が丘	584	519	-11.1%
神ノ西	142	194	36.6%
西原	65	61	-6.2%
若井	125	89	-28.8%
高野	73	58	-20.5%
若井川	143	110	-23.1%
峰ノ上	82	52	-36.6%
見付	401	323	-19.5%
東大奈路	100	75	-25.0%
根元原	82	55	-32.9%
根々崎	24	13	-45.8%
東川角	301	300	-0.3%
西川角	128	109	-14.8%
宮内	165	105	-36.4%
仕出原	117	99	-15.4%
大井野	142	124	-12.7%
口神ノ川	227	199	-12.3%
中神ノ川	132	104	-21.2%
奥神ノ川	8	4	-50.0%
桧生原	95	71	-25.3%
寺野	114	77	-32.5%
南川口	182	147	-19.2%
天ノ川	45	35	-22.2%
秋丸	145	124	-14.5%
野地	126	101	-19.8%
家地川	112	87	-22.3%
大向	63	54	-14.3%
折合	9	8	-11.1%
七里	583	478	-18.0%
中村	17	12	-29.4%
勝賀野	74	74	0.0%
川ノ内	79	75	-5.1%
作屋	142	99	-30.3%
米奥	205	154	-24.9%
窪川中津川	102	64	-37.3%
日野地	27	24	-11.1%
上秋丸	40	26	-35.0%
一斗俵	88	67	-23.9%

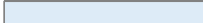
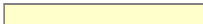
窪川地域	2008年 (平成20)	2023年 (令和5)	増減率
東北ノ川	74	55	-25.7%
市生原	76	65	-14.5%
床鍋	155	107	-31.0%
影野	224	180	-19.6%
奥呉地	69	44	-36.2%
魚ノ川	93	67	-28.0%
下呉地	191	168	-12.0%
替坂本	91	62	-31.9%
六反地	133	110	-17.3%
仁井田	698	464	-33.5%
小向	66	41	-37.9%
平串	154	151	-1.9%
富岡	33	30	-9.1%
黒石	251	218	-13.1%
本堂	137	134	-2.2%
与津地	179	135	-24.6%
親ヶ内	50	33	-34.0%
八千数	69	51	-26.1%
藤ノ川	150	117	-22.0%
向川	53	33	-37.7%
数神	147	107	-27.2%
奈路	106	91	-14.2%
道德	53	36	-32.1%
平野	125	102	-18.4%
土居	137	96	-29.9%
弘美	109	103	-5.5%
飯ノ川	63	50	-20.6%
志和峰	57	41	-28.1%
鶴津	7	0	-100.0%
志和	655	442	-32.5%
興津	796	491	-38.3%
窪川地域小計	14,136	11,196	-20.8%

凡 例	
	25.0%以上 増加
	25.0%未満 増加
	0%
	25.0%未満 減少
	25.0%以上 ~ 50.0%未満 減少
	50.0%以上 ~ 75.0%未満 減少
	75.0%以上 ~ 100.0% 減少

大正地域	2008年 (平成20)	2023年 (令和5)	増減率
大正橋	189	130	-31.2%
西本町	148	98	-33.8%
本町（大正）	81	51	-37.0%
土場	65	50	-23.1%
貯木場	11	0	-100.0%
東山	238	168	-29.4%
中町	107	87	-18.7%
新町	165	106	-35.8%
南町	266	186	-30.1%
四万十荘	27	3	-88.9%
轟崎	74	50	-32.4%
つづら川	62	42	-32.3%
瀬里	40	25	-37.5%
希ノ川	21	21	0.0%
下岡	22	17	-22.7%
上岡	61	40	-34.4%
口打井川	57	43	-24.6%
中打井川	42	28	-33.3%
奥打井川	110	76	-30.9%
上宮	114	84	-26.3%
弘瀬本村	58	39	-32.8%
弘瀬	32	22	-31.3%
大正北ノ川	198	153	-22.7%
市ノ又	13	9	-30.8%
烏手	43	39	-9.3%
相去	73	41	-43.8%
芳川	25	22	-12.0%
江師	127	121	-4.7%
小石	33	21	-36.4%
川ノ内（大正）	19	11	-42.1%
西ノ川（大正）	57	50	-12.3%
西ノ川事業所	28	22	-21.4%
大正大奈路	217	144	-33.6%
大正中津川	88	59	-33.0%
木屋ヶ内	62	44	-29.0%
下道	27	22	-18.5%
下津井	109	61	-44.0%
大正地域小計	3,109	2,185	-29.7%

十和地域	2008年 (平成20)	2023年 (令和5)	増減率
里川	65	43	-33.8%
浦越	74	56	-24.3%
茅吹手	42	24	-42.9%
津賀	28	24	-14.3%
昭和	508	358	-29.5%
野々川	66	44	-33.3%
大井川	439	293	-33.3%
河内	112	74	-33.9%
小野	229	162	-29.3%
久保川	147	100	-32.0%
口大道	73	42	-42.5%
奥大道	98	64	-34.7%
十川	470	354	-24.7%
戸川	173	112	-35.3%
地吉	158	118	-25.3%
古城	200	138	-31.0%
十和川口	232	156	-32.8%
広瀬	129	103	-20.2%
井崎	177	115	-35.0%
十和地域小計	3,420	2,380	-30.4%

合計	20,665	15,761	-23.7%
----	--------	--------	--------

凡 例	
	25.0%以上 増加
	25.0%未満 増加
	0%
	25.0%未満 減少
	25.0%以上 ~ 50.0%未満 減少
	50.0%以上 ~ 75.0%未満 減少
	75.0%以上 ~ 100.0% 減少

出典：四万十町住民基本台帳（各年1月1日時点）

2. 四万十町の集客施設

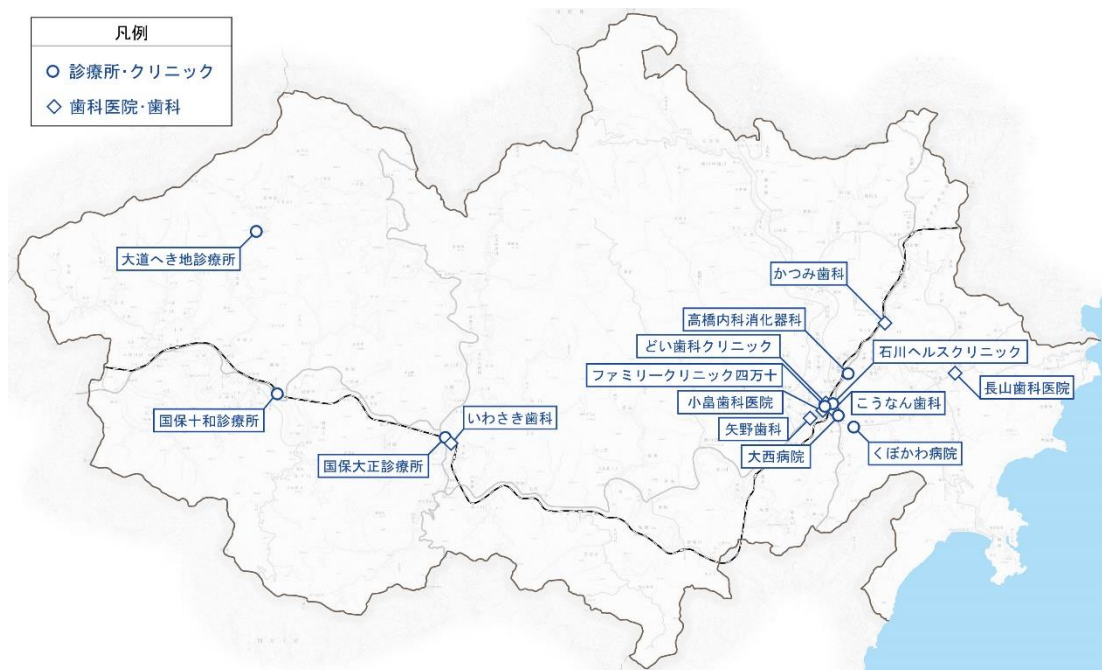
本町の集客施設の多くは、最も人口の多い窪川地域に集中している。

□ 公共施設



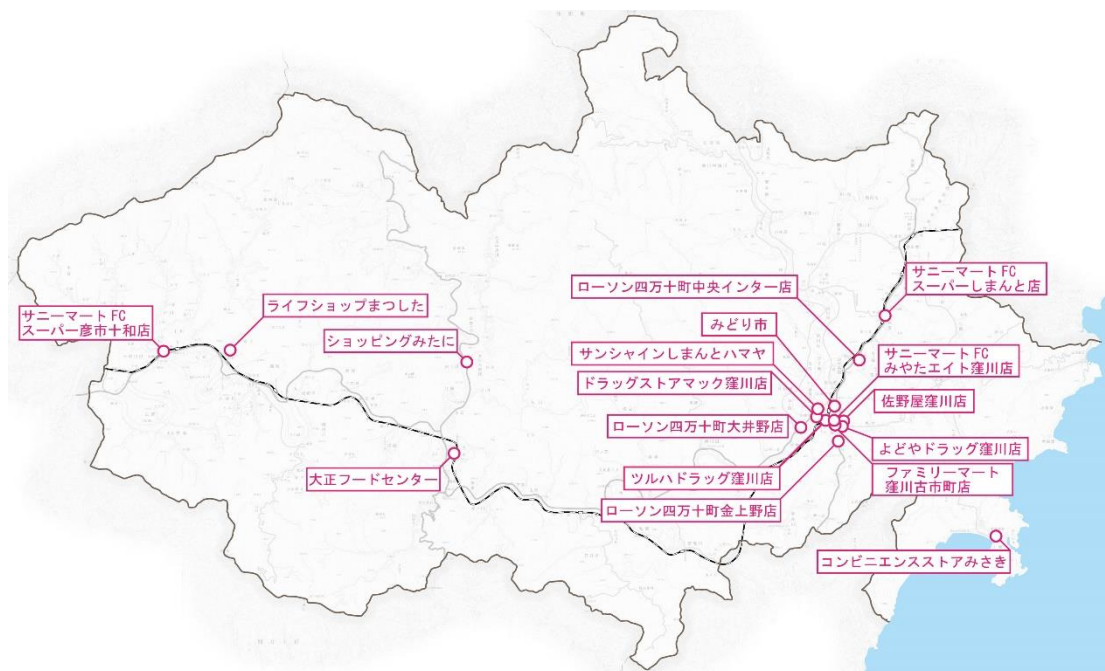
出典：四万十町

□ 医療施設



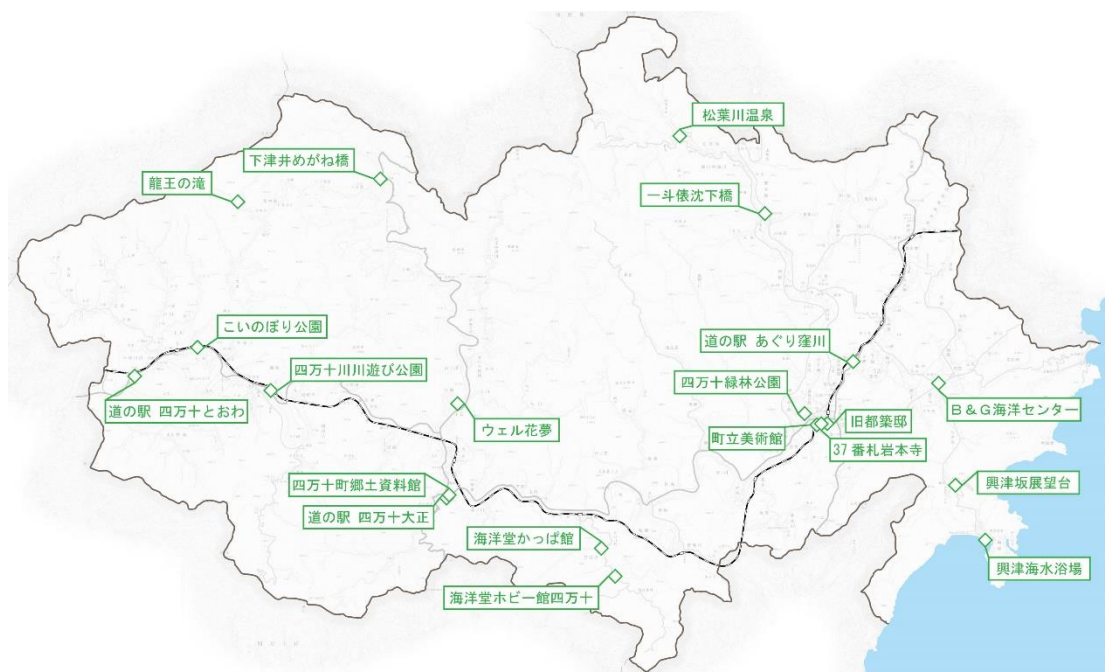
出典：タウンページ高知県版より、病院、医院、歯科を抽出

□ 商業施設



出典：タウンページ高知県版より、スーパー、食料品店、コンビニエンスストアを抽出。また、地区別ヒアリングの結果を反映

□ 観光施設



出典：四万十町

3. 地区別意見交換会から得られた意見

(1) 実施概要

7年間、地区別意見交換を実施していない窪川地域にて、特に今後再編が必要と考えられる路線沿線地区を対象として、バスを利用していない人も含めて、移動手段確保の現状と、これからの公共交通網への期待などを聞く場として意見交換を実施した。

実施日	実施地区	参加者数	備考
8月21日	志和地区	3人	
8月21日	志和峰地区	10人	
8月22日	窪川中心部	1人	
8月23日	興津地区	7人	
8月23日	金上野地区	9人	
8月24日	仁井田地区	4人	
8月24日	影野地区	7人	
8月25日	家地川地区	6人	

(2) 意見の整理

志和地区	・中土佐町の矢井賀を経由すると、須崎市や高知市方面に早く行ける。高知高陵交通の路線バスがここまで来てくれたらいいと思う人は多い。 ・既存の路線バスは運行便数が少ないため、特に現在車を利用している人にはとても使いづらいものである。高齢になってもバス利用に転換しづらいのはこういった理由がある。また、バスの運賃も高く感じるし、何より窪川駅で高知行き特急列車と接続していないことが不満である。 ・窪川駅にて高知行き特急列車との接続を強く要望。 ・公共交通に対してあきらめの意識があるため、バスそのものの利便性向上と並行して、バス乗り方教室などの利用促進の取り組みが必要である。
志和峰地区	・将来の移動手段確保に不安を感じている人は多い。既に独自の移動手段を持たない人は路線バスを頼りに生活をしている。 ・既存の路線バスは、とにかく運行回数が少なすぎる。まずは運行回数を増やさないと利用にはつながらない。 ・バスを利用したことがないまま、自動車と同様の利便性をバスに求めようとしている。今後も引き続き意見交換を行い、志和への移動手段と合わせて検討を進めていく。

窪川中心部	・香月ヶ丘地区住民の高齢化が進んでおり、移動手段確保に困窮し始めている人は意外といえるのではないかな。 ・自分はまもなく 90 歳を迎える。今のところ自家用車を利用してきているが、そろそろコミュニティバス利用に切り替えようか考えている。元気なうちにコミュニティバスに慣れておきたい。 ・買い物（四万十ハマヤ、みやた、みどり市）にコミュニティバスを利用したいと思っている。これまで利用してこなかったこともあり、利用方法が分からない。バス停も認識していない。 ・車の運転ができなくなって以降のことに不安を感じ始めている人は今後も増えてくると予想する。先手を打つ意味で、地区に入ってバス乗り方教室や意見交換を実施していくことが必要である。
興津地区	・興津地区で路線バスを定期的にご利用しているのは女性が 3 人である。路線バスが週に 1 日、運賃 100 円の日が設定されて以降、100 円の日にご利用者が増加している。 ・窪川駅での高知方面行き特急列車と路線バスの接続を実現して欲しい。また、午前 10 時頃に窪川に行ける便を設定して欲しい。今は通学時間に合わせているので朝の便が早すぎる。 ・路線バスのコミュニティバス化については、現状でも運賃の安い日に利用が集中していることから、運行曜日が限定されても受け容れられる人は多いと思う。ただし、できれば週に 1 日ではなく 2 日くらいは来てもらいたい。 ・仁井田経由便より見付経由のニーズがある。仁井田経由では興津から来て降りる人はいないが、乗ってくる人もいない。 ・曜日を限定して運行するコミュニティバス化の受け容れに前向きであった。今後は意見交換に来られていない人の意見収集や、曜日を限定した運行で支障がでる利用者の存在の把握に努めるとともに、バス乗り方教室の開催などを通じた利用促進にも取り組む必要がある。
金上野地区	・地区内を運行する路線バスを使ったことがある人はいない。また、参加者の内運行の概要（行き先、運行ダイヤ）を知っている人は 0 人であった。 ・最寄りバス停である高樋橋は、国道に横断歩道はあるものの、信号機はなく、特に高齢者の道路横断は非常に危険である。 ・曜日限定運行のコミュニティバスでも構わないので、地区内に新たな移動手段を検討してもらいたい。 ・移動手段確保に困窮している人がいるものの、バス利用が難しかったり、タクシー利用に慣れてしまっていたりして、ひとつの取り組みで解決できない状況である。引き続き課題解決策の調査研究が必要である。

仁井田地区	・ 毎年のようにこのような意見交換の場を設けて欲しい。今後は車の運転をやめる人も増えてくるので、公共交通が重要になってくる。 ・ 5年後には移動手段確保に困窮する人が必ず増えてくる。先のことを考えながら事業を進めて欲しい。 ・ 富岡地区を運行するコミュニティバスの運行曜日をもう1日増やして欲しい。 ・ コミュニティバスの運行を継続してもらいたい。 ・ 参加者には公共交通を利用していない人が多く、様々な要望が出された。公共交通での対応が難しい例を説明したうえで、定期的に意見交換を行っていくことで理解が得られた。
影野地区	・ 路線バス影野線は、鉄道に比べると運賃が高く、さらに所要時間も長いので、敬遠してしまう。一方でJRの列車も本数が減って利用しづらくなってきた。 ・ 仁井田のスーパーしまんとに行けるように、近くにバス停を設置もしくは移設してあげて欲しい。また、ひかり保育所前にもバス停を設置して欲しい。 ・ フリー乗降禁止区間の徹底をして欲しい。 ・ 自動車を利用する高齢男性が多い。一方で自動車を運転するものの、コミュニティバス運行日には積極的にバスを利用する女性グループも活動している。このようなグループと連携してバス乗り方教室などをすすめていく。
家地川地区	・ 毎日バスを利用している一般の人（通学者以外）はいないのではないか。 ・ 路線バスはおでかけ便の運行時間が早すぎ、帰り便も12:53と16:53の間が長すぎる。運行回数がそもそも少なすぎる。 ・ バスや鉄道で移動した場合、窪川の街中を歩いて移動するのが大変である。また、鉄道は窪川駅ホームの跨線橋を渡るのが大変である。 ・ バスに乗ったことがないので、利用方法が分からない。こういう人は他にもいると思う。 ・ 家地川地区内に残る公共交通空白地区の解消をお願いしたい。 ・ 路線バスのコミュニティバス化も含め、路線バス再編に対する理解が得られているが、地区全体の意向を集約していく必要がある。 ・ 独自の移動手段を持たない住民情報をもとに、個別にヒアリングを行い、検討をすすめる。

4. コミュニティバス利用者懇談会から得られた意見

(1) 実施概要

実際にコミュニティバスを利用している利用者を対象として、コミュニティバスに対する不満や要望などの意見をいただき、今後のコミュニティバスや他の公共交通整備への課題を整理する。

(2) 意見の整理

窪川地域コミュニティバス

弘川線利用者（参加者：3人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・しまんとハマヤ、みどり市、四万十ファミリークリニック、石川ヘルスクリニック（月に1回）などに行っている。石川ヘルスクリニックの下でも停まってくれるのがありがたい。
- ・自分たちが最終便を使うことはないが、病院の後で買い物に行っている人が使っている。
- ・くぼかわ病院に行っている人は、弘川線で窪川駅まで行き、そこから病院のバスに乗り換えている。
- ・足腰が悪くなり、コミュニティバスの利用が難しくなったため、家族の送迎やタクシーに切り替えた人がいる。
- ・窪川駅での高知方面への特急列車や、くぼかわ病院への送迎バスにも時間が合っている。また、街中での滞在時間も含め、ダイヤはちょうどよく使いやすい。
- ・車両はステップや手すりも充実しており、乗りやすい。
- ・運行中の車内では、会話が多く賑やかである。また、乗務員が優しく話してくれる。
- ・今は1便目で街中に来て用事を済ませ、1便目の折り返しで家に帰っている。冬になると2便目での移動になる。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・運賃を100円のまま継続してもらいたい。
- ・利用者が少なく申し訳なく感じているが、どうか運行を継続してもらいたい。
- ・今のままでの継続で構わないが、必要に応じた経路やダイヤの変更は受け入れられる。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・特に乗り換え利用していないため、弘川線が現在のとおりに運行を継続してくれればありがたい。

道徳線利用者（参加者：2人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・しまんとハマヤ、みやた、みどり市、ホームセンターなどに行く。支払いのために東町のコンビニエンスストアに行くこともある。
- ・フリー乗降にとっても助けられている。
- ・運行ダイヤについて、しまんとハマヤでの買い物だけであれば、次の便で帰られるので十分である。他の用事をしたい人はさらに次の便を使っている。
- ・平野からタクシーを使うと片道2,500円する。タクシーチケットはバスに利用している。
- ・特に他の交通機関に乗り換えて利用することはない。道徳線だけで十分である。
- ・車内ではおしゃべりが楽しく賑やかである。これがあるのでお出かけしたくなる。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・道徳線の運行によって生活ができています。本当にありがたく感じています。これ以上欲は言えない。
- ・乗務員全員ではないが、乗降時に挨拶しても何も返してくれない人がいる。「はい」だけでもいいので何か返してくれたらほっとする。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・近隣の地区にも、そろそろ車の運転を止めた方がいいと思う人はいる。しかし外から言っても無駄で、本人が気づくしかないと思う。

打井川線利用者（参加者：1人）※ 本人は利用者ではないが地区長として出席

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・自身は車に乗れるため、コミュニティバスを利用したことはない。奥さんがたまに利用している。
- ・窪川駅で高知方面行き特急列車に接続していない。それほどニーズがあるとは思わないが、繋がっているに越したことはないのではないかと。
- ・自身の母親が運転免許証を自主返納したが、好きなときに出かけられなくなり、今では後悔している。
- ・打井川線で街中に来て、折り返し便で帰ろうとすると、滞在時間が1時間程度で短すぎるという不満をよく聞く。次の便で帰るとなると待ち時間が長すぎる。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・運行の時間調整を行い、街中での滞在時間を90分程度になるようにしてもらいたい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・運賃が100円ということで、路線バス利用者がコミュニティバス利用にシフトする傾向にある。

奥呉地線利用者（参加者：3人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・窪川市街地内で移動することが難しいため、1便目で買い物をして帰り、また後の便で別の買い物に来ることがある。
- ・運行ダイヤについて、現状のままで十分である。滞在時間が足りない場合でも、また出てくることができる。
- ・現状のとおり、火曜日だけの運行で問題ない。それでも助かっている。外出は必ずコミュニティバスを使う。
- ・月曜日には窪川中心部のあったかふれあいセンターに行っている。そのときについでに買い物ができる。
- ・自分が道を歩いているだけで、バスで通りかかった乗務員が声をかけてくれる。帰り便の確認などしてくれるのでありがたい。
- ・車内では会話が賑やかで、それが楽しい。
- ・シルバーカーをコミュニティバスに載せられることもたいへん助かる。載せる時には利用者が助けてくれる。
- ・コミュニティバスのおかげで、外に出られる。家に閉じこもることもなく、楽しく生活できている。
- ・六反地の人たちはコミュニティバスを利用しない。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・大本神社方面にも入ってあげてほしい。数人の利用者がおり、バス乗り場まで歩いてきているのが気の毒である。
- ・替坂の奥の方にも利用している高齢女性がいるが、その人も長い距離を歩いている。可能であれば、替坂から影野の老人ホームまで対岸を運行できないか検討してもらいたい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・地区内にとくし丸が来てくれているが、最後の方に回ってくるのですでに商品が無い。
- ・路線バスの影野線を利用することもある。運行便数は少ないが、タクシーより安いので助かっている。
- ・鉄道に乗ることは無くなった。

折合線利用者（参加者：１人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・奥の端まで来てくれて本当に助かっている。途中の集落の人はこのありがたみを端に住む人間ほど感じていないだろう。だいたい寺野当たりまではいつも独りである。川口辺りから多くの人が乗ってくる。
- ・自分では車を利用できるが、それでも毎週コミュニティバスを利用したい。
- ・みやたにて少し買い物をし、その後歩いてあったかふれあいセンターに移動して運動をする。その後買い物をして 12 時前のコミュニティバスで帰る。
- ・運行ダイヤは今のままで良い。
- ・街中へ出てきて、人と交流できるだけでもありがたい。みやたの店員とも話をできるようになった。ボケ防止にもつながる。また、バスで出てくると歩くので運動にもなる。
- ・天ノ川に入ることは継続してあげてほしい。折合の人で天ノ川に入ることに不満を言う人はいない。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・今のまま継続してほしい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

特になし

相去線利用者（参加者：１人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・買い物は品物が揃っているところに行きたい。
- ・運行ダイヤは現状のとおりで良い。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・コメリの前でも乗降できるように停留所を設置してもらいたい。多くの人が同じことを言っている。
- ・フリー乗降の対応など、今一度しっかりと整理し、乗務員に徹底してもらいたい。
- ・大正駅から大正診療所への路線バスが運行しなくなっている。田野々に暮らす高齢者は歩いて診療所まで行きづらく、困っている人が多い。
- ・みやたにもコミュニティバスが入れるようにしてもらいたい。
- ・mac にもコミュニティバスが入れるようにしてもらいたい。高齢者がバス停間を荷物持って歩き、バスを待つのは大変である。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・高齢者が増えている。このような意見を言える場をしっかりと設けてほしい。
- ・住民のことを住民視点で考えてもらいたい。

川ノ内線利用者（参加者：2人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・くぼかわ病院
- ・小島歯科
- ・郵便局前で降りてツルハドラッグに行っている。
- ・重いものは生協で注文している。食べ物はコミュニティバスを利用し買い物に行っている。
- ・買い物の時間は特に問題ない。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・上小野川、ハイタカの間にコミュニティバスが通っていない迂回路があり、その道沿いに今後利用しそうな人がある。バスが入れるようであれば入ってほしい。その場合経路を変更したことで自分たちが多少歩くことは構わない。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・路線バス影野線について、特に昼の便には勝賀野から窪川方面での利用がごくたまに見られる。

神ノ川線利用者（参加者：1人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・同い年の友人と3人でコミュニティバスを利用している。自身も含めて3人とも車を運転できるが、運動のために歩くようにしている。
- ・特に口神ノ川での利用者が減っている。他の路線も使えるようになり、自分の都合に合わせて利用が分散するようになったことや、足腰が悪くなりバス停までの移動ができなくなっている。
- ・現状の運行ダイヤのままで良い。他に要望はない。運行をつづけてもらえれば、それでいい。自分もまもなく運転免許証の自主返納を考えている。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・とにかく運行を継続してほしい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・足腰が悪くなり、外出ができない高齢者が増えている。家族同居であると、外出する必要もないので悪循環になる。

床鍋線利用者（参加者：3人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・コミュニティバス利用は、病院であれば石川ヘルスクリニック、他買い物のニーズが高い。
- ・水曜日には、くぼかわ病院の久礼方面からの通院バスを利用できるので、これを使っている人もいる。
- ・朝の一番目の利用者が増加してきた。積み残しの発生はないが、補助席を出すときがあるため、自分たちのお楽しみのおでかけ（地区の友人達とのモーニング）は別の便にしている。
- ・双津ノ川の高齢夫婦が、床鍋線の他に火曜にもりん家まで歩いて奥呉地線を使うために移動している。大きな買い物袋をいっぱいにして歩いており、気の毒に感じる。
- ・以前、要望が出され、調査の結果実現しなかった国道南側への運行について、そこに暮らす高齢女性を地区の人たちが国道まで送迎するなど、助けている。道路が狭いので仕方ないと思う。
- ・コミュニティバスからの景色は普段と違って見える。
- ・コミュニティバスの運行にはたすけられている。たいへんありがたいと感じている。
- ・男性のコミュニティバス利用は少ない。女性が多く、車内はたいへん賑やかになっている。
- ・以前、車の運転をやめた高齢男性が免許返納後にコミュニティバスを利用していた。最初はしぶしぶであったが、コミュニティバスでのおでかけを楽しむようになり、喜んで利用していた。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・コミュニティバスの運行ダイヤはこれまでどおりで良い。
- ・サロンには40人のメンバーがおり、車に乗れる人もコミュニティバス運行日にはコミュニティバスでのおでかけをイベント的に行っている。火曜日の奥呉地線を床鍋まで延伸してくれたら、サロンをあげて積極的に利用する。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・火曜と水曜にとくし丸が来てくれている。
- ・地区内にはそろそろ車の運転をやめるべき、公共交通利用予備軍がたくさんいる。

飯ノ川線利用者（参加者：2人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・コミュニティバスは買い物での利用が多い。四万十ハマヤで約1時間の滞在が可能でちょうど良い。
- ・大奈路や平野方面を迂回する経路について、景色を楽しんでいるので負担には感じていない。
- ・弘見での乗降が以前に比べると大きく減少した。
- ・地区の高齢者が減少している。さらに車の運転をやめた人、そろそろやめそうな人もいる。同居家族がいる人は問題ない。
- ・日頃は車を利用しているが、本日初めてコミュニティバスを利用した。これであれば車の運転をやめても外出に使っていけると思った。
- ・時刻表冊子はこの内容で良い。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・一週間にもう1日で良いので運行日を増やして欲しい。
- ・以前にも要望を出していて実現していないが、飯ノ川地区の入口で大元神社方面にぐるりと回って運行してもらえないか。足の悪い高齢女性が10分かけてバス乗り場まで歩いている。
- ・くぼかわ病院を経由するように運行してもらいたい。
- ・コミュニティバスの運行は継続してもらいたい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・くぼかわ病院に家族に送ってもらい、帰りは病院の送迎バスを使うこともある。

大正地域コミュニティバス

葛籠川線利用者（参加者：6人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・運行経路について、大正の街中（主に大正フードセンターでの買い物）がメインであり、現状で問題ない。
- ・主に2便目でおでかけし、美容院などに行く場合は1便目を利用している。
- ・いつも顔なじみの人が乗っているので、おしゃべりしながらワイワイとした雰囲気で見送っている。
- ・基本的には今の運行のままで問題はない。
- ・タクシーチケットを活用している。助かっている。
- ・タクシーチケットはまだもらえないが、片道100円でありがたい。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・窪川まで用事があり朝一番の予土線に乗ろうとすると、7:50までに駅に行かないといけない。コミュニティバスでは行けない。
- ・窪川にも行きたいが、大正駅から葛籠川へ帰る便が13:35と早いため窪川まで行けない。15時以降の時間帯に下り便があると助かる。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・普段の生活ではコミュニティバスで問題ないが、どうしようもないときがある。緊急の時や何かあった時、今の状況では友達に頼むかもしれない。タクシーがあると安心できる。
- ・今は車を使っているが、来年免許証の自主返納を考えており、練習を兼ねて週に1回コミュニティバスを利用している。

下道線利用者（参加者：3人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・主な行き先は買い物であり、大正フードセンターに行っている。現状の経路のままで問題はない。
- ・普段はあまり人が乗っていないので静かである。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・用事が済むと少しでも早く帰りたいので、路線バスを利用することもある。
- ・大正から西ノ川に帰る時に路線バスを使うことがある。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・西ノ川の運行経路について、高齢者が300m近く歩いているため、経路変更をしてあげて欲しい。
- ・バス停（特に西ノ川）に座ってバスを待てるようにしてもらいたい。

芳川線利用者（参加者：1人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・芳川出身で、毎週大正から芳川の実家に行き、畑仕事や実家の管理をしている。
- ・曜日は問題ない。
- ・車内はだいたい自分1人だけである。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・いつも大正を8:46に出て、芳川に13:50のバスで帰ってきている。可能であれば芳川からの帰り便がもう少し遅いと嬉しい。もう少し芳川にいたい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

特になし

十和地域コミュニティバス

戸口・戸川線利用者（参加者：5人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・9時の便でおでかけし、11時の便で帰ることが多い。
- ・月曜は美容室が休みなので、散髪に行きたいときはタクシーを使っている。
- ・月曜は振替休日があるものの、月曜以外でもお店が休みという例があるので、月曜日の運行のままで良い。
- ・運行経路や運行ダイヤ、運行曜日は基本的に今のままで良い。
- ・週に1回の買い物が主な利用理由。喫茶清流でモーニングを楽しむ際、戸口地区と戸川地区の住民同士の交流につながっている。
- ・乗務員が楽しい話をしてくれ、車内の雰囲気は良い。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・戸口・戸川線は谷本地区（旧道）をまわるが、谷本地区でコミュニティバス利用者はいないのでほかの便と同じように学校のほうを通ってほしい。
- ・戸口地区と戸川地区の住民同士の交流につながっているなので、この経路のままで運行してもらいたい。
- ・運転免許証の自主返納をした人がいるので、今後利用者は増えていくと思う。運行を継続してもらいたい。
- ・十川橋の待合所に雨除けや風除けを造って欲しい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・路線バスとコミュニティバス、窪川方面行きの予土線との接続が必要。
- ・タクシー券、戸川は交通の便が悪いのに交通の便がよい地区（昭和など）よりもらえる額が少なくてちょっと不満。もらっても使っていない人もいてもったいない。

地吉線利用者（参加者：11人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・ 8時の便でおでかけすることが多い。
- ・ 以前は宇和島へ行くこともあったが、今はほとんど行っていない。
- ・ 買い物や診療所（コミュニティバスと診療所バスを利用）、清流でのモーニングに出かける。
- ・ 10月より古城線も古城小学校前まで運行するので、乗れなくなることはなくなるだろう。
- ・ くぼかわ病院や大西病院の通院バスには時間が合わないので使っていない。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・ 十川橋の待合所に雨除けや風除けを造って欲しい。
- ・ 車内に優先席のような席を設けて欲しい。若い元気な人が先に乗車して前の席を占領している。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・ 予土線の宇和島方面、高知方面どちらも地吉線が最も便がよい。

北の川・広井線利用者（参加者：2人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・ コミュニティバスに乗って、主に彦市や役場、農協、みよしやに出かけている。
- ・ 運行経路は少し遠回りにはなっているが問題はない。
- ・ 運行ダイヤを記憶できているため、現状のダイヤで問題ない。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・ 今のままで運行を継続してもらいたい。
- ・ 井崎方面では、二の又や相後などの運行経路から離れている集落の住民で、コミュニティバスを利用したいと望んでいる人がいるのではないかと。実際、過去に利用していたが、高齢とともに移動も難しくなり、家族に車を出してもらっている人がいる。
- ・ 道の駅四万十とおわで買い物をすることがあり、時間調整（5～10分くらいのお買い物タイム）をしてくれたらありがたい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・ 役場でいきいき百歳体操やあったかサロンへの参加はあったかふれあいセンターの送迎サービスを利用している。
- ・ 今はコミュニティバスと合う列車の便が無いと叶わないが、宇和島には行きたい。
- ・ 彦市で買い物しても、前の待合場所が狭いため、農協前、みよしや前で乗車することが多い。
- ・ 何か所か、荷物の仮置きができる場所を設けられないか。

小野線利用者（参加者：6人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・第4便については乗っても、帰りの便が無いため需要が無いのではないかと。実際、利用している人はいない。
- ・運行経路や運行ダイヤについては、今のままで問題はない。
- ・おでかけ先は、おかみさん市、役場、郵便局、農協、彦市など。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・全部でなくてよいから、他の曜日のコミュニティバスが小野大橋を渡り、機会屋前でUターンする対応はできないか。
- ・今までどおりの運行を継続してもらいたい。
- ・自分の立っていた場所も悪かったかもしれないが、気付かれずに乗れなかったことがある。できれば乗降場所の気配りをもうちょっとしてくれたらありがたい。
- ・同じダイヤで、別の日にも運行してくれたらありがたい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・予土線を使うときは、大半が宇和島方面への利用のため、タクシーを使って駅まで行く。

野々川線利用者（参加者：7人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・運行経路や運行ダイヤについては、今のままで問題はない。
- ・おでかけ先は、おかみさん市、役場、郵便局、農協、彦市など。
- ・朝一の便(6:55 発)に乗れば、窪川行き(7:33 発)に乗れるので、そちらをよく利用させてもらっている。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・八木地区までコミュニティバスの運用はできないか。現地からも声が上がっている。例えば、大道の向畑のようなデマンド対応はできないか。
- ・十川橋の待機所に雨除け、風除けになるものが欲しい。
- ・昭和地区にゆっくりバスを待てる分かりやすい施設を造って欲しい。
- ・木曜日以外にも運行してほしい。
- ・十和地域も高齢化が進み、車の免許返納者も増えてきた。これにより、コミュニティバスの利用者も増えると考えている。しかし、免許の返納証明書を提示すれば、コミュニティバスの補助券を貰えることを知っている人は少ない。こういった情報をもっと多くの町民にお知らせして欲しい。
- ・コミュニティバスの乗り方やバス内でのマナーなどを知らないという人がいて、コミュニティバスの利用に足踏みしている人がいる。講習会などを定期的に行うことはできないか。合わせて、ICカードの使い方講習も行えないか。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・予土線を使うときは、大半が宇和島方面への利用のため、タクシーを使って駅まで行く。

大道線利用者（参加者：5人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・運行経路や運行ダイヤについては、決まっている時間に合わせて利用しているので、今のままで問題ない。
- ・おでかけ先は、主に農協、十和診療所、彦市、みよしやなど。
- ・朝一の便(6:55 発)に乗れば、窪川行き(7:33 発)に乗れるので、そちらをよく利用させてもらっている。
- ・コミュニティバスの利用は1週間の中の楽しみである。みんなでわいわい話しながら楽しく過ごしている。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・中平鮮魚店、ライフショップまつしたにも行きたい。
- ・口大道集落の対岸を現在走っているの、対岸に渡って乗っている。できれば、デマンド運行とまではいかないが、連絡をした時に集落側を回ってくれたらありがたい。もしくは、上り線の時は特に荷物を持っていないので、下り線の時に集落側を回るなどできたら嬉しい。
- ・現在、終点が番所谷となっているが、その奥にもまだ数件の家がある。現在は車を運転できる人ばかりなので問題無いが、近い将来コミュニティバスが必要になってくるはず。今後、どうしていくか、早めに動いた方がよいと思う。
- ・十川や昭和の商店街の目的地にて用事が終わった後、買い物などに行くにも、自分たちは足が悪いため少しの距離でもコミュニティバスを利用している。例えば、役場で用事を済ませて彦市に行くときは、歩かずに清流でお茶をしながらバスを待つ。彦市に着いてからはJ Aや隣接してところで時間を潰しながら、またバスを待っている。それほど身近な存在であり、なくてはならないものである。今後とも存続させてほしい。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・くぼかわ病院には、土佐昭和駅までコミュニティバスを利用し、そこから予土線を利用して向かっている。
- ・大正の歯医者へ向かうのに、昭和までコミュニティバスを使い、路線バスに乗り換えて向かう。
- ・J Rは階段や坂を上ったり、下ったりするのが大変で利用していない。
- ・バスタクシー福祉チケットは、同じ大道地区内でも1～2キロ離れるだけで金額が変わってしまう。タクシーの券（金額）を変えたりすることは難しいか。

地吉線利用者（参加者：4人）

○ コミュニティバスの日常利用について

- ・10月～古城線が古城小のほうを回るようになるので、定員オーバーで乗れなくなることは少なくなると期待している。
- ・おでかけ先として、モーニングを食べにロマンや喫茶清流に行っている。
- ・大正の歯医者に行くのに昭和の診療所までコミュニティバスに乗って、路線バスに乗り換えて通院していた。

○ 今後のコミュニティバスに対する要望など

- ・基本的に現状のとおりで運行が良い。
- ・運行曜日もこのままで良い。
- ・仕事を辞めて、今後は運転もしないという方がいるので、コミュニティバスの利用者は増えていくはず。
- ・コミュニティバスに優先席を設定して欲しい。若い元気な人が先に乗車して前の席を占領している。

○ 地域の公共交通に対する意見や要望

- ・バスを利用している時に、路面がぼこぼこしている所がいくつかあるのでよく揺れる。

5. コミュニティバス利用者アンケートから得られた意見

(1) 実施概要

□ 実施のねらい

コミュニティバスのさらなる利便性向上を検討するにあたり、実際にコミュニティバスを利用している人の思いを把握するためにアンケート調査を実施した。

□ アンケートの実施方法

“依頼文書”と“アンケート調査票（A4 サイズ両面）”を、乗務員から利用者に直接手渡しにて配布してもらった。

回答者はアンケート調査票に回答後、同封した返信用封筒（料金受取人払い）にて郵送。

□ アンケートの実施時期

8月初旬より順次配布を開始し、8月25日を返送締切とした。

□ アンケートの回収状況

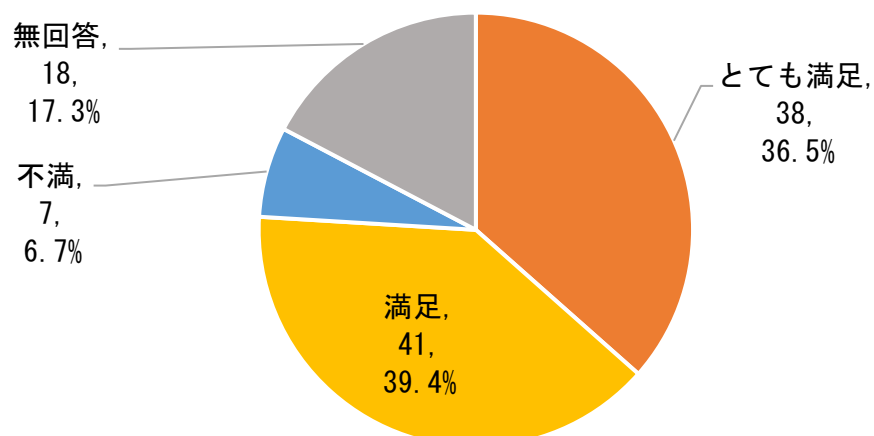
地域	回収数	計
窪川地域	50	104
大正地域	17	
十和地域	37	

(2) アンケート調査結果の集計（一部抜粋）

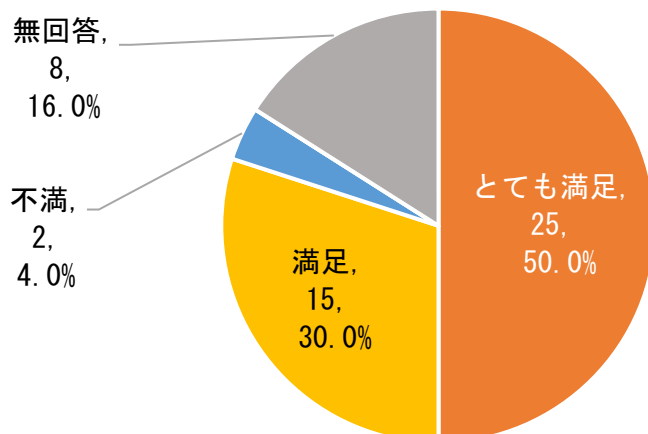
次頁より、アンケート調査結果の集計を整理する。

① 運行経路に対する満足度

□ 町全体

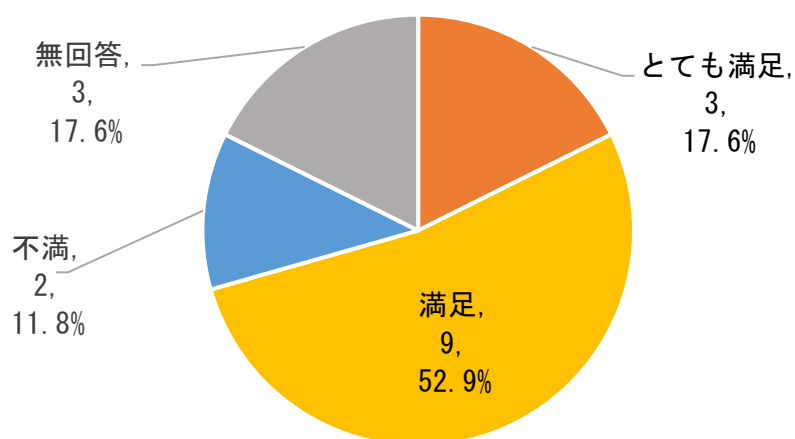


□ 窪川地域コミュニティバス



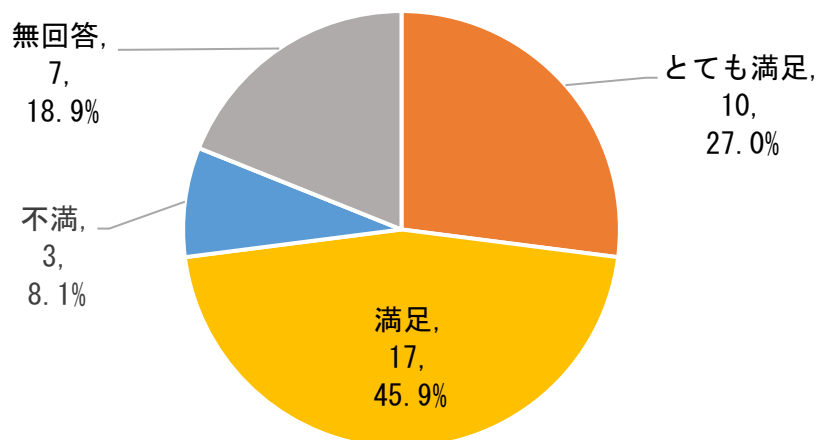
とても満足	・ 自宅は地区のバス停の間にあるが、いつも気持ちよく自宅前で乗降している。感謝している。(東又、80 歳台) ・ 強いて言うなら、ほっかほっか亭に寄ってもらえると嬉しい。温かいご飯が食べたい。(興津、20 歳台) ・ 体が不自由で杖をついてバスに乗車している。とてもありがたい。(西原、90 歳以上) ・ どこでも乗車できるため非常に助かっている。自分は車に乗れないためありがたい。5 回入ってくるので最高。(米奥、80 歳台) ・ ゆっくり自由に乗っていけるから。(作屋、80 歳台、女性) ・ 路線によって買い物を、店を選んで行けるから。 (弘見、70 歳台) ・ 目的地の近くまでいけること。(仁井田、80 歳台)
満足	・ このバスがなければ生活出来ない。週 2 回あるおかげで何とか生活している。とても有難く思い、毎週必ず利用している。ありがとう。(東又、80 歳台) ・ 週 2 回利用できるのも助かる。(影野、80 歳台) ・ 私達は安心してこのバスに乗っている。病院のバスも無くなったので、困っている人がいる。このバスを使って有難く思っている。(七里、80 歳台)
不満	・ 腰が悪く歩くのが大変。川口の国道のバス停までは中々大変。 (南川口、80 歳台) ・ 家の方まで来ない。(郷分、30 歳～60 歳台)
無回答	・ ミヤタに買い物へ行くためバス停から歩くのにつらい思いをしていた。最近は近くに停めてくれるようになった。夏は日陰で休めるような所があれば良いと思う。また椅子があればとも思う。(黒石、90 歳以上)

□ 大正地域コミュニティバス



とても満足	・ 運転手の優しさ。友達に会えるうれしさ。 (地区無回答、80 歳台)
不満	・ 打井川線のコミュニティバスに乗れない事。国道沿いとは言っても移動手段のないものは少しでも利用できれば嬉しい。 (立西、70 歳台)

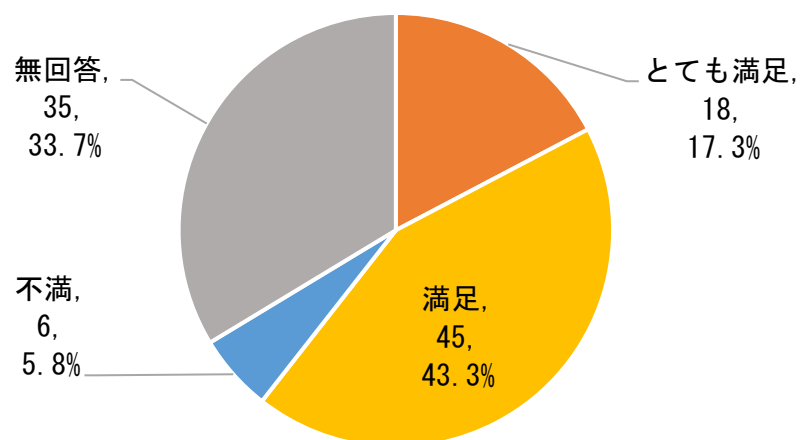
□ 十和地域コミュニティバス



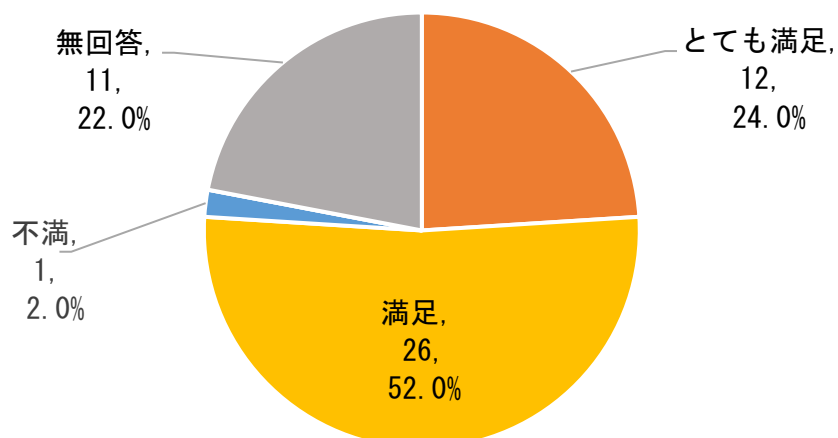
とても満足	・ 運転者の方がとても心使いが細やかで優しい。忘れ物の気遣い。「気をつけて」や降車の際に温かい気持ちになる。 (昭和、80 歳台)
満足	・ どこでも乗降できる。(小野、70 歳台) ・ 今のところ利用は月一回だが、これから他の用事ができると一人なので、利用が増えると思う。(戸口、70 歳台)
不満	・ 現在は週 2 回運行だが、週 3 回になると満足。 (古城、70 歳台)
無回答	・ 助かる。(十川、80 歳台)

② 運行ダイヤや乗り継ぎの利便性に対する満足度

□ 町全体

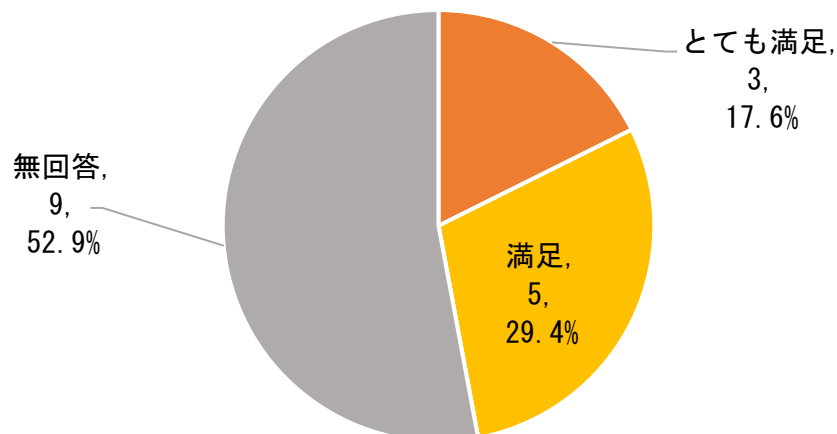


□ 窪川地域コミュニティバス



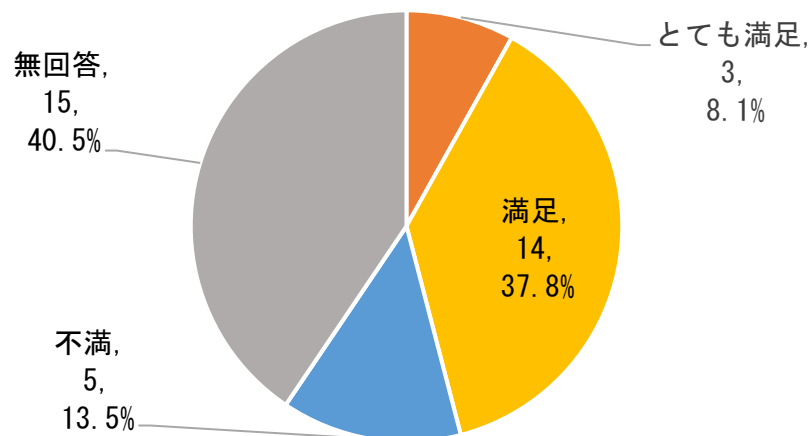
とても満足	・ 道德線、奥呉地線、折合線、神ノ川線など、利用するコミバスの待ち時間が長い。(興津から窪川に到着してから) (興津、20 歳台) ・ 病院に行くだけだが助かっている。(西原、90 歳以上)
満足	・ 12 時～15 時はちょっと遅いかなと思うが、そしたらいつがいいか分からない。(立西、90 歳以上) ・ 買物がゆっくりできるので満足。(影野、80 歳台) ・ 窪川駅から高知へ行く際にとても助かっている。(七里、70 歳台) ・ まあまあ今の時間で良いと思う。(仁井田、80 歳台)
不満	・ もう少し時間の余裕が欲しい。(弘見、70 歳台)
無回答	・ 他の路線は分からないから行くのは不安。(興津、80 歳台)

□ 大正地域コミュニティバス



満足	・週2日くらい欲しい。(大正、70歳台)
無回答	・鉄道に乗り換える際の時間の少なさ。(立西、70歳台)

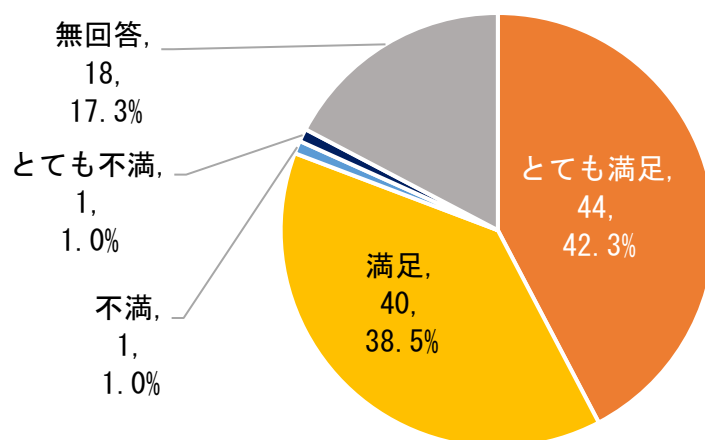
□ 十和地域コミュニティバス



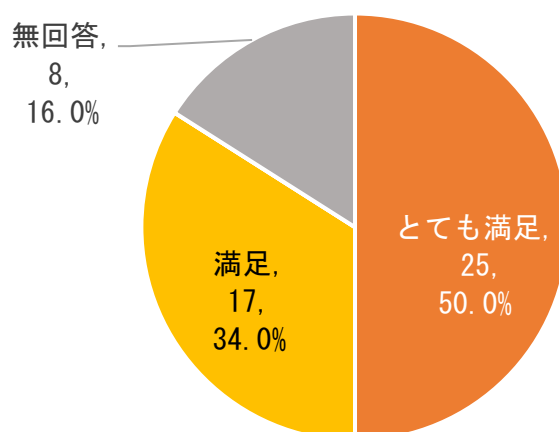
とても満足	・家の近くで乗降できてありがたい。(昭和、80歳台)
満足	・窪川まで。(古城、80歳台) ・昼の便は帰る時間が長すぎる。(古城、30歳～60歳台)
不満	・十和診療所受診までぎりぎり間に合う時や、乗れない時があり、もっと本数が多いと満足。(古城、70歳台) ・鉄道の時間に合わない。(十和、70歳台) ・鉄道と接続して欲しい。(十和川口、30歳～60歳台) ・鉄道との接続ができていない。(小野、70歳台) ・コミュニティバスから大正町への行き帰りに乗り継ぐ便で不自由を感じている。(井崎、80歳台)
無回答	・乗り継ぎの経験無し。(昭和、80歳台)

③ 運賃に対する満足度

□ 町全体

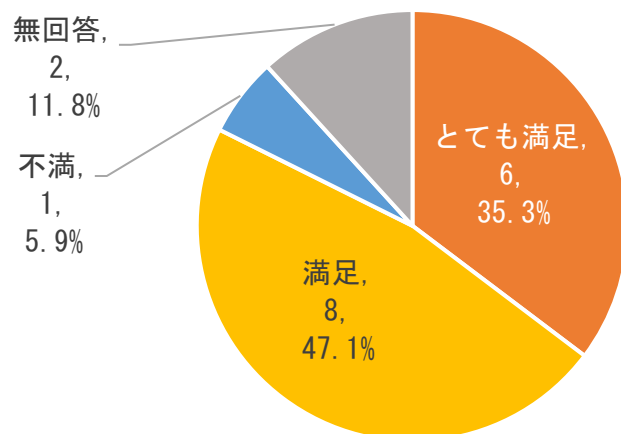


□ 窪川地域コミュニティバス



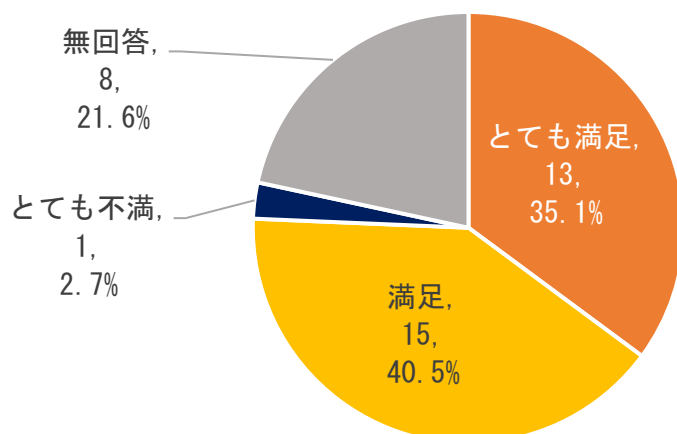
とても満足	・今以上は望まない。(影野、80 歳台) ・料金が高くなっても利用する。(200～300 円) (興津、20 歳台) ・安いとても嬉しい。(米奥、80 歳台) ・ワンコインで利用できること。(仁井田、80 歳台) ・年金でくらしているの、本当にうれしくありがたい。 (四万十町内、90 歳以上)
満足	・年金生活者には大助かり。(折合、80 歳台) ・年金生活なので助かっている。学校が休みの日は朝、昼、夕の 3 回のバスが運休。(宮内、70 歳台) ・100 円はとても満足。(弘見、70 歳台) ・有難く思っている。(七里、80 歳台)
無回答	・多いほど良い。(平野、80 歳台)

□ 大正地域コミュニティバス



とても満足	・安い運賃で年金生活には助かる。(広瀬、80 歳台)
-------	----------------------------

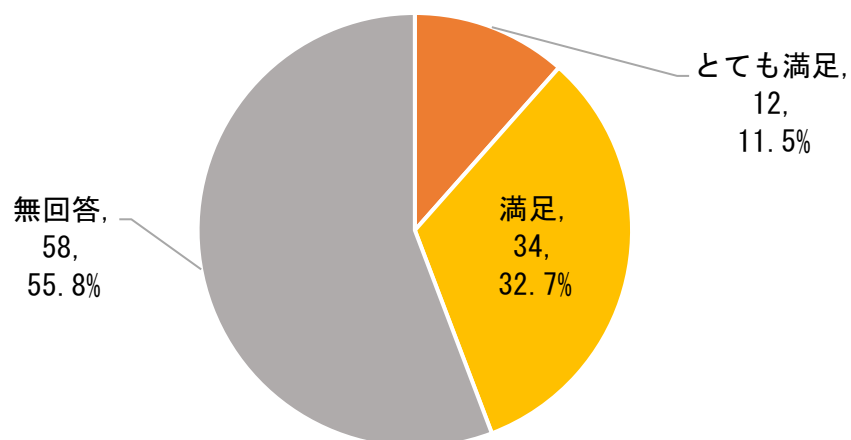
□ 十和地域コミュニティバス



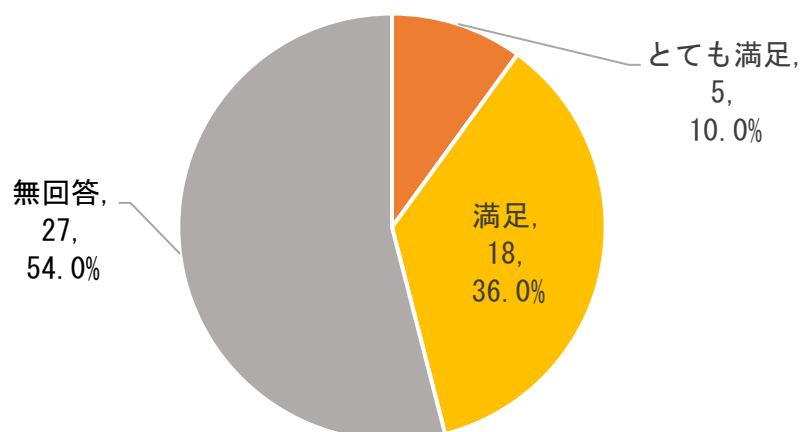
とても満足	・安く利用できて嬉しい。(昭和、80 歳台)
満足	・今のままでお願いしたい。(古城、80 歳台) ・100 円で乗車できることに満足。ありがとう。(古城、70 歳台) ・安い。(小野、70 歳台) ・どこでも利用できて良いと思う。(戸川、80 歳台)
無回答	・どこでも利用できる。(戸川、90 歳以上)

④ 情報発信に対する満足度

□ 町全体

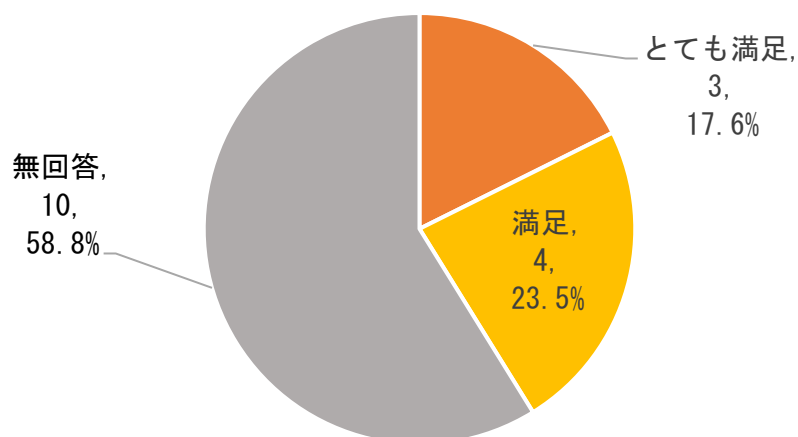


□ 窪川地域コミュニティバス



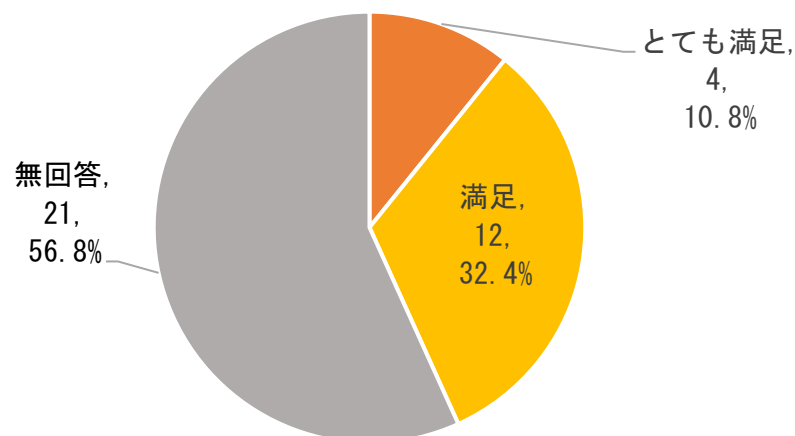
とても満足	・有難く思っている。(西原、90 歳以上)
満足	・あまりない。(仁井田、80 歳台)

□ 大正地域コミュニティバス



無回答	・あまり利用したことがないので分からない。 (小石、70 歳台)
-----	---

□ 十和地域コミュニティバス



満足	・乗務員からも情報を得ている。(大井川、30 歳～60 歳台) ・同じ地区の人に聞いたり、一緒に乗車して、その時間聞いたりしている。(古城、70 歳台)
無回答	・運転手にはあまり声掛けは許されないため情報交換等はない。心得ているつもり。(昭和、80 歳台) ・ちょっとわかりにくい。(井崎、80 歳台)

6. 関係者から得られた意見

(1) 実施概要

本町の公共交通に関連する関係者及び移動の目的となる主要施設などにヒアリングを行い、現状や近い将来に危惧される課題や問題点、本計画との連携の可能性等について聞いた。

(2) 意見の整理

株式会社 四万十交通	・車両数（会社全体）：路線バス 22 台（窪川 14 台、大正 8 台） 貸切バス 11 台（窪川 9 台、大正 2 台） ・乗務員数（会社全体）：32 人（窪川 23 人、大正 9 人）。路線バスと貸切バスは乗務員が交替で対応している。 ・乗務員数について現状は充足しているが、3 年後には不足に転じることが確実である。女性にも乗務してもらっているが、更衣室やトイレ、休憩室などが男性仕様のみであり、福利厚生が困難な状況である。なんとかしてあげたい。 ・四万十交通の 50 歳乗務員の年収は、全国平均（令和 3 年分民間給与実態統計調査：国税庁）の約 60% となっている。なかなか若い人には入ってきてももらえない。また、お金だけの問題ではなく、家族とともに過ごせる休日の確保なども必要である。 ・町が考えるバス路線再編について、可能な限り協働していきたい。利用者の掘り起こしとしてバス乗り方教室などの開催にも協力したい。
有限会社 丸三ハイヤー	・通常は 5 台の車両を 5 人の乗務員で回している。（その他ジャンボタクシー、車いす対応車両、コミュニティバス車両あり）週休 2 日を交代で設けている。コロナ禍の影響により、夜間の仕事は感染リスクなどがあったため、昼間のみの営業時間にシフトした。 ・コロナ禍前との比較では、高齢者の利用は増えているが、それ以上に人口が減少しているためタクシー利用も減少している。 ・認知症の疑いのある方については、できる限りタクシー業者間で連携をとって注意を払っている。 ・車の検査点検等を受けなければならないが、乗客の減少などから、車を維持していくべきかどうか計画を立てにくい状況にある。 ・自分の行きたいところに行きたい時間に利用できるため、そういった考えの方にはお金が高くても使ってもらえる。また、タクシーがなくなると困るというお客さんが積極的に使ってくれている。 ・四万十町福祉タクシー・バス利用券については、使っていない方はもったいないと感じるが、もしもの時のために大変有効であると思う。 ・公共交通活性化協議会でも情報を仕入れつつ、町の取り組みでできることについては、協力をしていきたい。

有限会社 窪川ハイヤー	・4台の車両（普通車）を4人の乗務員が交替で休日を取りながら運行している。 ・タクシーの利用者は減少しており、コロナ禍前との比較でもまだ1割減といったところである。特に夜の利用者が減っており、コロナ禍による呑み方の変化、運転代行行者の台頭などが要因と考えられる。 ・コミュニティバス等、町が行う新しい移動手段サービスへの協力は可能である。 ・四万十町福祉タクシー・バス利用券について、遠い地区では一回の往復で使い切ってしまう、利用者から不公平感を感じられている。また、もしものためにチケットを使わず、結局期限が切れてしまう利用者もいる。今後の課題として改善方法を考えて欲しい。タクシー事業者としてはこの制度に助けられているが、利用者のことを思うと改善して欲しい部分もある。
十和ハイヤー	・ひとりでタクシー事業を営業している。 ・十和地域は人が減り、ずっと衰退している。宴会もなくなり、夜の利用者はほとんどいなくなった。 ・タクシー利用者は午前中が多いが、昭和の診療所など近場の利用がほとんどである。午後は利用が極端に少なくなる。 ・予土線の運行便が減り利用者が減ることで、タクシーを使ってくれる人も減っている。 ・四万十町福祉タクシー・バス利用券は不要とする人にまで行き渡っており、結果使われずもったいないことになっている。もう少し効率的に改善できないものか。
くぼかわ病院	・通院バスの乗務員が高齢化しており、令和6年に3人が乗務しなくなる。現在8名で運行しているが5名になるため、順次運行便を減らしている。しかし透析患者用の通院はやめるわけにはいかない。 ・29人乗りマイクロバスが2台、10人乗りハイエースが1台で運行している。病院と窪川駅間のシャトル便の利用が多い。 ・路線バスやコミュニティバスとの連携により、通院バスの減便を補完していくことは可能だと考える。ぜひ検討していきたい。路線バスやコミュニティバスで通院してもらえれば、買い物などにも立ち寄ることがしやすくなる。
大正診療所	・通院バスを完全予約制にて運行している。車両は10人乗りハイエースを使っている。 ・診療所バスでの買い物は出来ないが、空いた時間に買い物するのは問題なし。診療が終わり次第帰る。基本的に予約した人が行きも帰りも利用する。 ・大正地区中心部には近場であっても歩行が困難になり、病院に限らず買い物にも困っている人がいる。大正地域にタクシーがないため困窮している。コミュニティバスで対応可能か検討してもらいたい。

十和診療所	・ハイエースによる通院送迎バスを運行している。車両は1台。 ・コミュニティバスで通院しているのは大井川や大道が多い。基本的にコミュニティバスが運行している地区には送迎を行っていない。 ・家族による送迎で通院してくる人が多く、診療所の送迎を利用しているのは平均3～4人程度となっている。 ・送迎バス利用のルールは特にない。ただし買い物をするために立ち寄って待つことはないが、降りることは可能としている。
しまんとハマヤ	・サンシャイン本部と作物の配送や生産者との連携に取り組んでおり、事業として軌道にのりつつある。 ・コミュニティバスの敷地内乗降は評価されているが、安全性確保の点から、敷地内の運行経路を変更することは可能である。 ・バスでお買い物にきてくれる人たちへの情報発信として、運行概要などを掲示することは積極的に協力できる。
みやたエイト 窪川店	・当店の敷地内にも路線バスやコミュニティバスを乗り入れ、来店者が入口前で乗降できるようにならないか。もし敷地内乗り入れが可能であれば、道路面に停車スペースの舗装を明示した舗装を行う。買い物に来てくれる人からよくお願いされている。
スーパー彦市 十和店	・十川地区は、郵便局や駅、役場（振興局）、商業施設、J A、喫茶店などを高齢者が歩いて回るにはそれぞれに距離があり、しんどい思いをさせている。 ・十川地区内にバスの待合所は絶対に必要である。十川橋もいいが、全ての高齢者の移動は十川橋方面だけとなっていない。できたら十川橋、十川バス停付近、郵便局などにそれぞれあった方がいい。町の間管理住宅を活用したらどうか。 ・意外と十川の中心部に近い場所に暮らす人が、移動手段に困っているようである。タクシーを使うには近すぎ、歩くには遠すぎ。近くであれば配達をしている。 ・店舗の来店者数は減少し続けている。亡くなったり、入院したり、子どものところに引っ越したり…。人がいなくなるばかりである。 ・野々川線の午前の便に余裕がなく、買い物時間が短くて困っている利用者がいる。